

2017年11月

第86号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート

TEL 018-883-1888

総選挙異見（オウンゴール）

衆議院選挙は10月22日の投開票の結果、自民・公明の与党が圧勝し幕を閉じた。

今回の選挙は不思議な選挙であった。内閣支持率が低迷している中、安倍総理は臨時国会での冒頭解散に踏み切った。解散の理由は「北朝鮮問題に対する対応」と2年後に予定されている「消費税の用途の変更」について国民に信を問いたいというものである。

しかし、この解散理由はなぜ今でなければならぬかの大义に乏しい。その狙いとするところは野党第一党の「民進党が代表選挙などでゴタゴタしている」新党結成を模索中の「小池新党の体制が整っていない」この時期を選んで今なら勝てると踏んで「解散」を断行したのではないかとの声大きい。

総理が最も有利な時期を選択して解散に踏み切るのは常道ではあるが、一強多弱な政界において、何も奇をてらうやり方をしなくても野党の声をじっくり聞く度量があっても良かったのではないかと思う。大相撲で言えば横綱が平幕と対戦した時に立会の変化で勝っても大ブーイングを浴びせられるだけであり、日本人の美意識や武士道精神(嘘をつかない・卑怯な真似はしない・弱い者いじめはしない等)に照らしても相容れないものがある。


解散が発表されると間髪を入れずに小池都知事を代表とする「希望の党」が発足した。同党は安全保障や憲法問題について現実的に対応し、他の政策で特色を出し、しがらみのない政治を標榜する保守政党として、既存の政権の受け皿となりうる党の誕生、そして、二大政党として成長することに期待を寄せる声も大きかった。

しかし小池代表は、民進党前原代表との間で合流に合意したものの、「希望の党」としては「安全保障と憲法について党方針と同一の考え方を共有することが大前提」とし、「意見が異なる人は排除する」と発言したため、これに反発する民進党員が枝野氏を代表とする「立憲民主党」を立ち上げた。

この「排除する」発言を契機として「希望の党」に対する潮の目が変化し、世論調査でも次第に「支持率」が低下傾向となり再び浮上することはなかった。二大政党制構築のチャンスの芽を摘んだ小池代表の責任は重いものがある。

東京都議選では、安倍首相の「こんな人たちに負けるわけにはいかない」発言、今回の総選挙では「排除の論理」が選挙戦を左右し、言葉の重みを改めて考えさせられることとなった。

日本の未来を語り政策を戦わせ、国民を巻き込む論戦が求められているとき、オウンゴールで勝敗が決せられ些か興ざめの選挙戦であった。政権与党はこの結果に奢ることなく緊張感を持った丁寧な政権運営をしていただきたい。



「朝に希望 夕に感謝」

平澤 興 語録より

朝には、希望と張り合いを持って仕事をはじめ、夕には、その日仕事を終わり、感謝をもって、緊張をときほぐし、静かに喜びながら、萬物を拝む気持ちになることです。

今が楽しい。今がありがたい。今が喜びである。それが習慣となり、天性となるような生き方こそ最高です。

今日一日の実行こそが、人生のすべてである。

人に喜びを与えることが、最高である。感謝することが、喜びを与えることである。

善悪の心を超越して、あらゆるものに慈悲の心をもつ。そういう人になりたい。これは私の祈りである。

なによりも大切なことは、人を生かすことである。そして、その人に喜びと勇気と希望を与えることである。

情熱は年齢ではなく、燃ゆる心の力である。情熱は喜びであり、希望があれば人は疲れない。

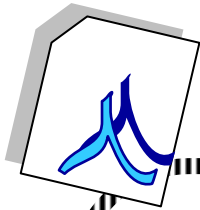
幸福というものはいいことである。けれどもそれだけではいけない。できれば、高い夢がのぞましい。

幸福で、幸福だけで、かぎりなく成長することは至難なことである。困難はその時にはありがたくはないが、これを活用し得る人にとっては、将来の大きな幸福への「チャンス」である。

成長するためには、苦難が喜びであると思うようになることである。

年をとりいくつになっても、成長してゆく人の顔には嫌味がありません。

現在(只今の時)は過去の終わりにあらずして、新しい将来への「スタート」であり、無限の可能性をはらむ自己完成への始めである。



松下 幸之助 (実業家・発明家・著述家)

1894年11月27日	和歌山県海草郡和佐村の小地主、松下政楠・とく枝の三男として誕生。
1899年頃	父がコメ相場で失敗。尋常小学校4年で中退、宮田火鉢店に丁稚奉公に出る。
1910年	大阪電灯(現関西電力)に入社。
1913年	関西商工学校夜間部予科入学。
1918年	松下電気器具製作所設立。電球ソケット・カンテラ式自転車電池ランプ・乾電池などを手がけた。
1929年	松下電器製作所に改称と併せ、「綱領・信条」設定。
1932年5月5日	「命知元年」と定めて第一回創業記念式典開催。 「水道哲学」「適正利益・現金正価」を訓示。
1935年	松下電器産業株式会社に法人化。
1946年	GHQにより公職追放処分を受ける。 PHP研究所設立。倫理教育に乗り出す。
1961年	第一線を退き会長に就任。
1970年	後継者育成目的に「松下電器商学院」設立。
1973年	80歳で現役引退。
1979年	私財70億円を投じ政界活性化のため「財団法人松下政経塾」を設立。
1989年4月27日	気管支肺炎のため死去。享年94歳。

オススメのBOOK



「倍賞千恵子の現場」

著者 倍賞千恵子 PHP新書

著者は、1960年松竹音楽舞踏学校を首席で卒業と同時にSKDに入団。61年に松竹にスカウトされて女優としてデビュー。庶民派女優として、また、歌手としても活躍した。

本書は著者が主として女優として共演した「男はつらいよ」(フーテンの寅さん)の渥美清さん、「幸福の黄色いハンカチ」の高倉健さんとのさまざまなエピソードや真剣勝負で演ずる努力の数々が記されている。

歌手として女優としてプロとなるためには、「人間的にも技術的にも、ずっと磨き続けることが大事」「強い意志と柔軟な心を持って、心が柔らかければ、いろいろなものを吸収できる」との言葉が印象的。

くらしと保険のおはなし

自動車保険「他車運転特約」とは

紅葉狩りなど行楽の季節になり自動車での外出も増えるこの時期、友人と出かけたドライブで、疲れたから途中で運転を交代するということがたまにあります。

では、他人の車を運転中に万一事故が発生したら、自動車保険ではどのように補償されるのでしょうか？

他人の車を運転する際に知っておきたいのが自分が加入している自動車保険に自動付帯されている「他車運転特約」です。

他車運転特約とは、契約車両以外の車を臨時に借りて運転中に事故を起こしてしまった場合、貸主が加入している保険より自分の保険から優先して保険金が支払われるというものです。その補償内容は、自身が契約している自動車保険の補償内容に準じるのが一般的です。借りた車の損害についても、自分が車両保険に入っていれば、契約条件に従って修理費用などが支払われます。自分が車両保険に入っていなければ、例えば友人の大切な車を事故で傷つけてしまった場合に車両保険で補償されないで、「自腹で修理をする」か、「持ち主である友人が車両保険に入っていればそれを使う」しかないということになります。そこで注意したいのは、補償の対象は走行中の事故に限られ、駐車や停車中の事故は対象外ということです。信号や踏切での停車は走行中に含まれるので補償の対

象ですが、駐車場での事故は対象外です。具体的な例は以下の通りです。

他車運転特約での具体的な事例	支払いの対象○対象外×	
	相手への補償	借りた車自体の損害(車両保険がセットされている場合)
友人の車を借りて運転中に事故を起こした場合	○	○
親が別居の未婚の子の所へ行き、別居の未婚の子が所有している車を運転中に事故を起こした場合	○	○
別居の未婚の子が所有している車を、別居の未婚の子自身が運転中に事故を起こした場合	×	×
友人の車を借りてドライブに行っている途中、高速のサービスエリアに車を駐車して休憩中にぶつけられた場合	×	×
別居の未婚の子が、友人の車を借りて運転中に事故を起こした場合	○	○
同居の子が所有する車を借りて事故を起こした場合	×	×

友人、知人の車を借りて起こした事故は、その車の保険を使えば更新後の等級が下がり保険料がアップしてしまいます。自分が加入している自動車保険でカバーできるかどうか確認することが大事です。一般的には自動付帯特約とされていることが多く、内容は各保険会社で異なりますので注意しましょう。

普段慣れない車での運転には充分気を付けて、秋の行楽シーズンを満喫しましょう。



青森県 日本一の大イチョウ

「ビッグイエロー」

【編集後記】

今年は将棋・囲碁界が燃えている。

将棋界では中学生棋士の藤井4段の連勝記録更新に沸いた。

今度は囲碁界で井山裕太王座(28才)が10月17日に2度目の7大タイトル独占を果たした。

7冠達成は将棋界でも羽生善治棋聖がいるが、2度達成は将棋・囲碁を通じて初めてである。

将棋の藤井4段も囲碁の井山7冠も10代、20代と若い。さまざまな場で若者が活躍する社会は躍動感にあふれ生き生きとした世界を作り出す。

今後の更なる活躍を期待したい。